

平成 25 年 6 月 19 日

報道関係者各位

国立大学法人 筑波大学

実験教室

「微生物がパンを作る！筑波大学で微生物実験&見学会」を開催します

国立大学法人筑波大学【学長 永田恭介】(以下「筑波大学」という)の生命環境系【系長 白岩善博】は、公益財団法人日本科学技術振興財団・科学技術館、公益財団法人新技術開発財団との共催で、小学校中高学年とその保護者を対象とした実験教室・見学会を開催します。

本イベントは、筑波大学の実験室にて「酵母」を使ってパン作りをしながら発酵の実験・勉強を体験することで、身近な科学の面白さ、不思議さを体感してもらうことを目的としています。

開催概要

日時：2013年6月22日(土) 10:20～15:30

会場：筑波大学 第三エリア 2D104 演習室、2D108 実験室 他

講師：生命環境系教授 青柳秀紀

主催：筑波大学生命環境系、公益財団法人日本科学技術振興財団・科学技術館、
公益財団法人新技術開発財団

* 募集内容の詳細は添付資料及び下記サイトを参照。

https://manabi.jsf.or.jp/scienceclub/?func_id=201313-T005-0

開催の経緯

筑波大学生命環境系の青柳秀紀教授は、2012年(平成24年)4月27日、「花粉の自家蛍光特性を活用した実用的な花粉種自動識別計測装置の開発」により、第44回市村学術賞貢献賞を受賞しました。同賞は、学術分野の進展に貢献し、実用化の可能性があり、独創的・画期的で世界的に見て高い水準にある研究に功績のあった大学等の研究者に対して公益財団法人新技術開発財団より贈呈されるものです。

この受賞が縁となり、科学技術館関係者が青柳教授の教育・研究活動に関心を寄せ、同館「サイエンス友の会」の活動の一環として実験教室の実施を依頼したことで、本イベントが実現の運びとなりました。

教室の内容

発酵食品に関する説明に続き、実際にパン作りを体験し、発酵に伴う酵母のガス生産の様子などを観察し、パンの試食をします。また、発酵の待ち時間を利用し、学内施設(調整中)の見学も行います。

対象

日本科学技術振興財団・科学技術館のサイエンス友の会会員が対象です。参加予定者は、小学生 21名、保護者 23名(計 21組)です。参加者の居住地内訳は、東京都(18組)、茨城県、神奈川県、埼玉県(各 1組)となります。

問合せ先

筑波大学生命環境系 教授 青柳 秀紀 (あおやぎ ひでき)

日本科学技術振興財団・科学技術館 科学技術館事業部 早武 真理子 (はやたけ まりこ)